

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目

●アンギオテンシン I	●インフルエンザウイルス A型[CF]	●サイトメガロウイルス 特異的 CTL 解析(HLA-A*0201)
●アンギオテンシン II	●インフルエンザウイルス B型[CF]	●サイトメガロウイルス 特異的 CTL 解析(HLA-A*2402)
●血中 11-OHCS	●ムンプスウイルス[CF]	●血小板表面マーカー検査 CD55
●心室筋ミオシン軽鎖 I	●可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	●血小板表面マーカー検査 CD59
●HDL _{2,3} コレステロール	●プロテイン S(抗原量)	

* 詳細は次頁以降をご確認下さい。

■変更期日

- 2020年12月3日(木)受付日分より

■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
40	2184	アンギオテンシン I	所要日数	7~14日	7~9日	所要日数の変更
40	2185	アンギオテンシン II	所要日数	7~14日	6~9日	
40	2197	血中 11-OHCS	所要日数	3~10日	3~8日	
79	3501	心室筋ミオシン軽鎖 I	所要日数	3~8日	3~7日	
-	1791	HDL _{2,3} コレステロール	所要日数	3~8日	3~6日	
55	2609 2610	インフルエンザウイルス A型 インフルエンザウイルス A型(髄液)	測定場所	(エスアールエル経由) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所	エスアールエル	測定場所、所要日数、検体量、報告範囲、報告内容、項目コードの変更
			所要日数	5~8日	4~7日	
	2611 2612	インフルエンザウイルス B型 インフルエンザウイルス B型(髄液)	検体量	血清 0.3 mL ※髄液は変更ありません	血清 0.2 mL 髄液 0.4 mL	
			報告範囲	4未満、 4~67108864、 (以上報告なし) ※髄液は変更ありません	4未満、 4~512、 1024以上	
	2615 2616	ムンプスウイルス ムンプスウイルス(髄液)	報告内容	(非特異反応が認められた際の報告) 「非特異反応のため判定不能とさせていただきます」	(非特異反応が認められた際の報告) 「非特異反応が認められたため〇〇法をお勧めいたします」	
115	1172	可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	項目コード	-	1172	全自動測定機器への変更、および、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲、検体量の変更
			検査方法	LPIA	凝集法	
			基準値(単位)	7未満(μ g/mL)陰性	陰性	
			報告範囲	濃度:3未満、 3~99900000	(なし)	
			検体量	クエン酸血漿 0.4 mL	クエン酸血漿 0.3 mL	
-	6977	プロテイン S(抗原量)	検査方法	ラテックス凝集反応	EIA	測定試薬の変更に伴う、検査方法、基準値、報告範囲、所要日数の変更
			基準値	M 73~137 F 59~143 (%)	65~135 (%)	
			報告範囲	4未満、 4~99900000	5以下、 6~99900000	
			所要日数	3~6日	3~8日	
-	7901	サイトメガロウイルス特異的 CTL 解析 (HLA-A*0201)	報告内容	6頁をご参照ください		測定機器変更に伴った報告内容の変更
-	7904	サイトメガロウイルス特異的 CTL 解析 (HLA-A*2402)	報告内容	7頁をご参照ください		

頁	項目 コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
-	-	赤血球表面マーカー 検査 CD55	項目コード	4087	-	測定機器変更 に伴った報告内 容の変更
			報告内容	8 頁をご参照ください		
-	-	赤血球表面マーカー 検査 CD59	項目コード	4088	-	
			報告内容	9 頁をご参照ください		

* その他の検査要項に変更はございません。

可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。

これに伴い、項目コード、検査方法、基準値、報告範囲、検体量が変更となります。

項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
1172	可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	項目コード	-	1172
		検査方法	LPIA	凝集法
		基準値(単位)	7未満(μ g/mL)陰性	陰性
		報告範囲	濃度:3未満、3~99900000	(なし)
		検体量	クエン酸血漿 0.4 mL	クエン酸血漿 0.3 mL

■新旧二法の相関

相関一致表

		旧法	
		陰性	陽性
新法	陰性	28	3
	陽性	22	47

判定一致率:75%(n=100)

(エスアールエル検討データ)

■検査方法参考文献

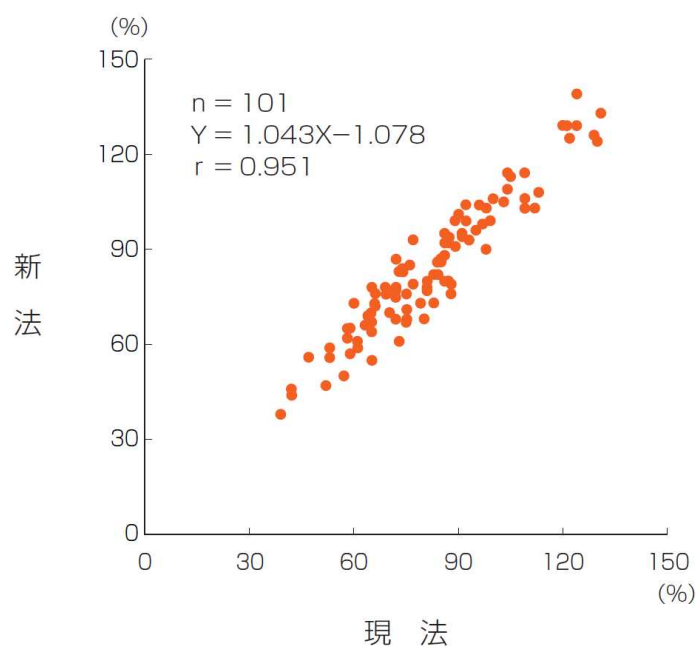
八戸 雅孝, 他:臨床病理 60(12)別冊, 1139~1144, 2012.

プロテイン S(抗原量)

所要日数を短縮することが可能な測定試薬に変更させていただきます。
これに伴い、検査方法、基準値、報告範囲、所要日数が変更となります。

項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
6977	プロテイン S(抗原量)	検査方法	ラテックス凝集反応	EIA
		基準値	M 73~137 F 59~143 (%)	65~135 (%)
		報告範囲	4未満、 4~99900000	5以下、 6~99900000
		所要日数	3~6日	3~8日

■新旧二法の相関



(エスアールエル検討データ)

■検査方法参考文献

安藤 秀実, 他: 機器・試薬 41(5): 509~519, 2018.

サイトメガロウイルス 特異的 CTL 解析 血小板表面マーカー検査

測定機器を変更させていただきます。

これに伴い、ソフトウェアが変更となるため、論文等に用いられている一般的な表示に、報告内容を変更させていただきます。

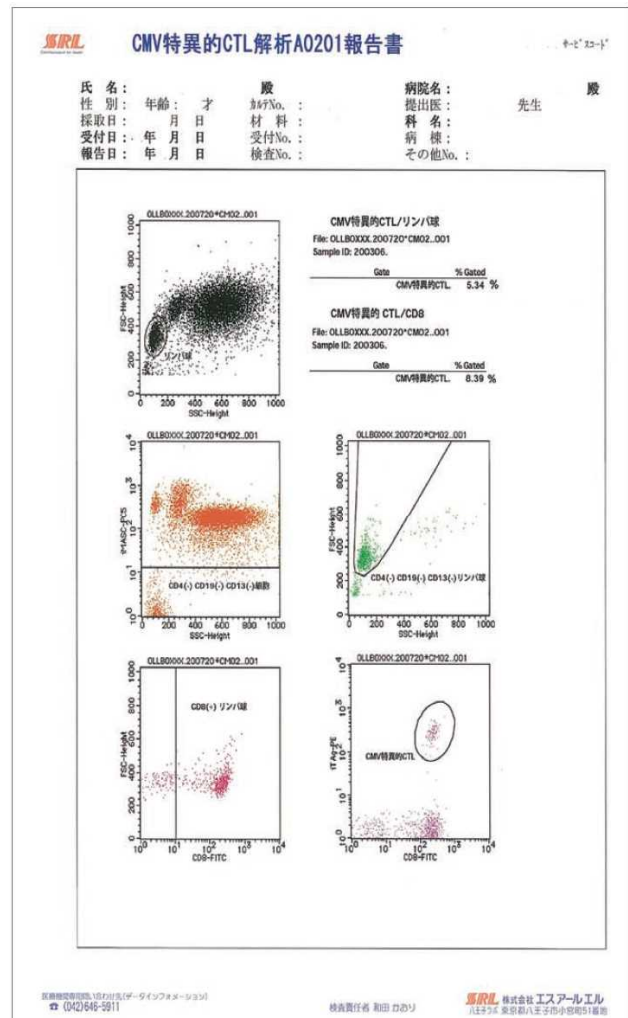
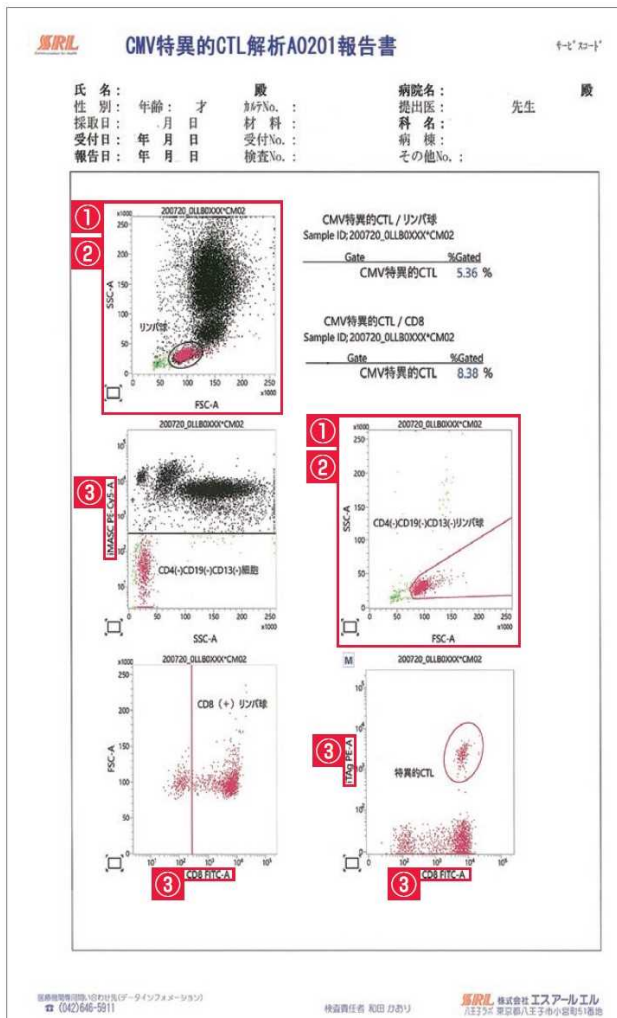
■報告書比較【項目コード:7901 サイトメガロウイルス 特異的 CTL 解析(HLA-A*0201)】

●変更内容

- ① SSC/FSC サイトグラムの X 軸・Y 軸表記を変更いたします。
- ② 測定機器変更に伴い、A=Area(面積:高さの積分値)での表示に変更いたします。
SSC-Height → SSC-A、FSC-Height → FSC-A
- ③ グラフ軸に蛍光色素名を表記いたします。

<新報告書見本>

<現報告書見本>

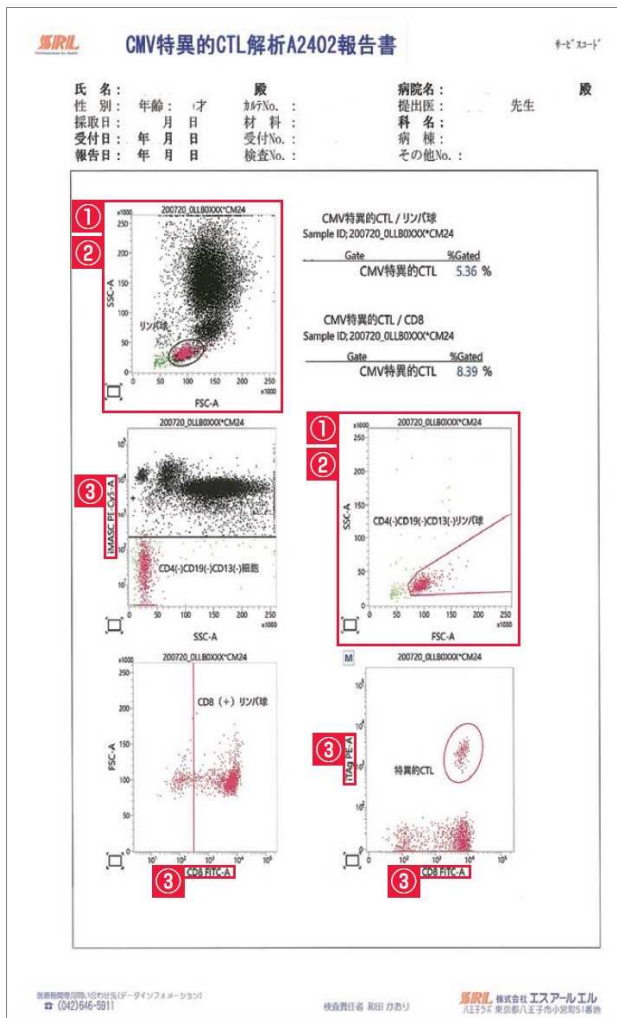


■報告書比較【項目コード:7904 サイトメガロウイルス 特異的 CTL 解析(HLA-A*2402)】

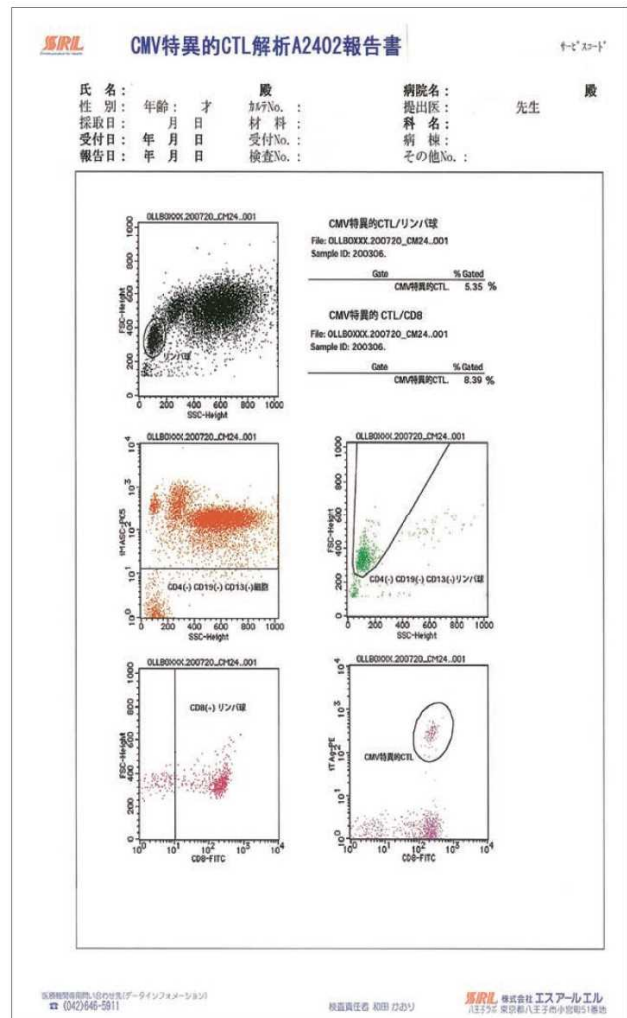
●変更内容

- ① SSC/FSC サイトグラムの X 軸・Y 軸表記を変更いたします。
- ② 測定機器変更に伴い、A=Area(面積:高さの積分値)での表示に変更いたします。
SSC-Height → SSC-A、FSC-Height → FSC-A
- ③ グラフ軸に蛍光色素名を表記いたします。

<新報告書見本>



<現報告書見本>

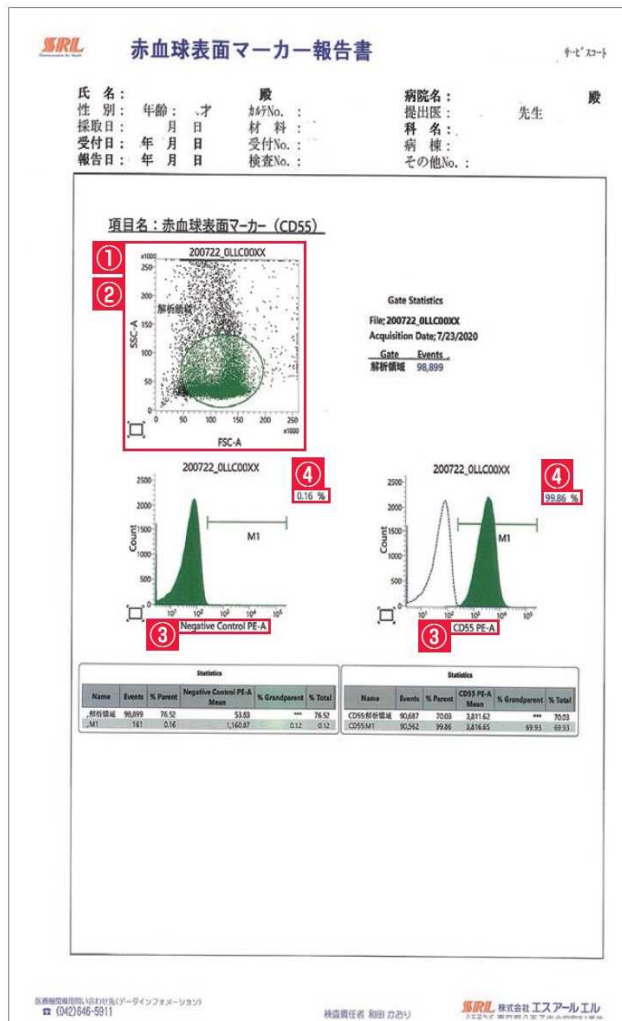


■報告書比較【項目コード:4087 血小板表面マーカー検査 CD55】

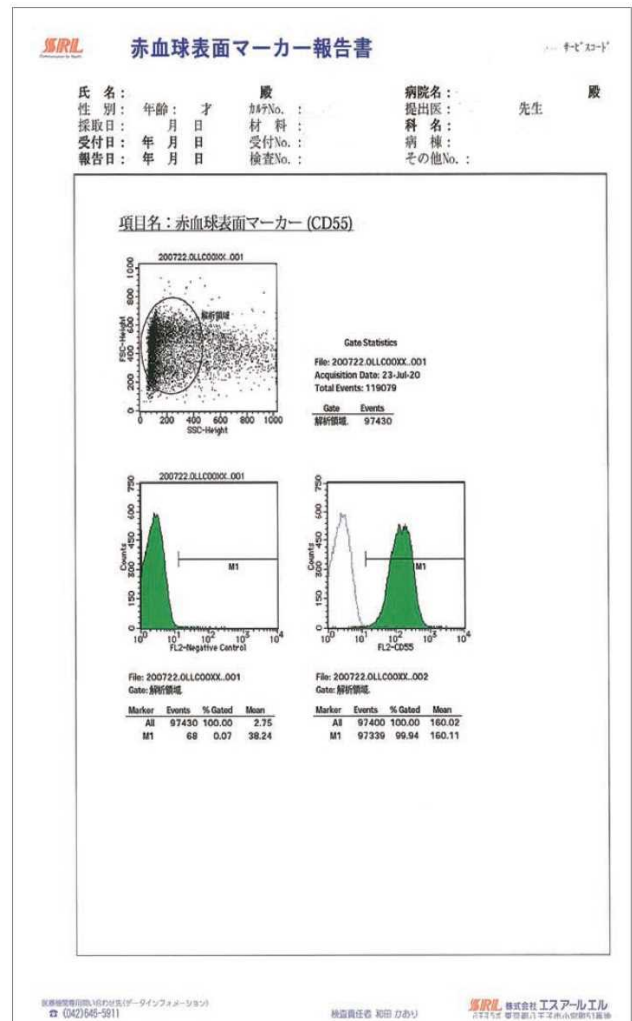
●変更内容

- ① SSC/FSC サイトグラムの X 軸・Y 軸表記を変更いたします。
- ② 測定機器変更に伴い、A=Area(面積:高さの積分値)での表示に変更いたします。
SSC-Height → SSC-A、FSC-Height → FSC-A
- ③ グラフ軸に蛍光色素名を表記いたします。
- ④ 現報告書の M1 の%Gated は新報告書のヒストグラム右上に表記いたします。

<新報告書見本>



<現報告書見本>



■報告書比較【項目コード:4088 血小板表面マーカー検査 CD59】

●変更内容

- ① SSC/FSC サイトグラムの X 軸・Y 軸表記を変更いたします。
- ② 測定機器変更に伴い、A=Area(面積:高さの積分値)での表示に変更いたします。
SSC-Height → SSC-A、FSC-Height → FSC-A
- ③ グラフ軸に蛍光色素名を表記いたします。
- ④ 現報告書の M1 の%Gated は新報告書のヒストグラム右上に表記いたします。

<新報告書見本>

<現報告書見本>

